

物品競争入札心得

この心得は、越前市契約規則（工事の請負にかかる場合は、越前市工事請負契約約款を含む。）に定めるもののほか、入札参加者の心得について必要な事項を定める。

第1条 入札参加者は、入札書を作成し封書の上、自己の氏名を表記して提出すること。

第2条 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。

2 入札参加者は、入札に当り競争を制限する目的で他の入札参加者と入札価格又は入札意思についていかなる相談も行わず、独自に入札価格を定めなければならない。

第3条 前条に違反した者は、当該入札参加資格を取り消すと共に越前市及び関係機関に通知するものとする。

第4条 入札参加資格者は、代理人をして入札に参加させることができる。この場合において、当該入札の執行前に、その旨を証する書面（委任状）を入札執行者に提出しなければならない。

2 前項の場合において、その入札書には、入札参加資格者（委任者）と代理人氏名（法人の場合には、その名称及び代表者氏名）を併記し、代理人が押印して入札するものとする。

3 入札参加者又はその代理人は、当該入札に対する他の入札参加者の代理をすることはできない。

4 入札物件が複数ある場合には、それぞれにおいて代理関係を証する書面を提出するものとする。

第5条 入札参加者又はその代理人は、その提出した入札書を書き換え、引き換え又は撤回することはできない。

第6条 次の各号のいずれかに該当する入札は、無効とする。

- (1) 入札書の記載金額その他入札要件が確認できない入札
- (2) 入札書の記載金額を加除訂正した入札
- (3) 入札書に記名押印がない入札
- (4) 一の入札者又はその代理人が同一物件について二以上の入札をしたときの入札
- (5) 代理人が2人以上の者の代理をした入札
- (6) 入札者が同一物件について他の入札者の代理をしたときの双方の入札
- (7) 無権代理人がした入札
- (8) 入札に関し不正の行為があった者のした入札
- (9) 入札に参加する資格が無い者のした入札
- (10) その他入札に関する条件に違反した者の入札

第7条 開札は、公告した場所において、入札終了後直ちに入札参加者又はその代理人の面前で行う。

第8条 開札の結果、落札に至らない場合には、直ちに出席者（初度の入札参加者）で再度入札を行う。

第9条 有効な入札を行った者のうち、予定価格の範囲内で最低の価格で入札をした者を落札者とする。

2 落札者となるべき価格で入札した者が2人以上いるときは、くじ引きにより落札者を決定する。

第10条 入札参加者は、入札が終了するまでは、入札執行者の指定する場所において待機し、無断でその場所を離れてはならない

第11条 当該入札に関し談合情報があった場合又は入札執行者が公正に執行することができないと認めるときは、入札執行の延期又は中止することがある。この場合において、入札参加者に事情聴取及び積算内訳書の徴収を求めることがある。

第12条 落札者が、契約を締結するまでに、越前市から入札参加資格の資格制限又は指名停止等を受けた場合は、契約を締結しないことがある。

第13条 入札保証金の納付を免除された落札者が正当な理由がなく、期限までに契約を締結しないときは、落札金額（消費税を含む）の100分の5に相当する違約金を徴収するものとするものとする。

第14条 入札参加者は、入札執行の完了までにいつでも入札を辞退することができる。この場合、入札執行前においては書面で、入札執行中においては口頭で入札執行者に連絡するものとする。

2 前項において入札を辞退したものに対し、これを理由に以後の入札参加審査において不利益な取り扱いを受けることは無い。